

環境放射線等測定結果報告書

R F S 発 7 第 7 6 号

令和 8 年 2 月 2 7 日

む つ 市 総 務 部

防 災 安 全 課 長

上 林 啓 史 殿

リサイクル燃料貯蔵株式会社

技 術 安 全 部 長

篠 田 和 之

リサイクル燃料備蓄センター周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定書第11条第1項の規定により令和7年度第3四半期の環境放射線等測定結果について別紙のとおり報告します。

(1) 空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準 偏差	平常の 変動幅	過去の 測定値 の範囲	過去の 同一四 半期の 測定値 の範囲	平常の変動幅を 外れた時間数	平常の変動幅を外 れた原因と時間数		備考
										施設起因	降雨等	
		単位:nGy/h							単位:時間			
美付	10月	20	40	19	2.7	7～31 (19±12)	9～71	14～66 (21)	9	0	9	
	11月	21	47	19	3.8				24	0	24	
	12月	22	57	17	5.4				50	0	50	
	第3四半期	21	57	17	4.2				83	0	83	

- ・ 測定値は1時間値。
- ・ 測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・ 測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・ 「平常の変動幅」は、令和2～6年度の測定値の「平均値±（標準偏差の3倍）」。
- ・ 「過去の測定値の範囲」は、令和2～6年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・ 「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2～6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。また、括弧内の数値は平均値。
- ・ 「施設起因」は、監視対象施設であるリサイクル燃料備蓄センターに起因するもの。
- ・ 「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・ 「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種										備考
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
松葉	美付	R7. 11. 18	Bq/kg 生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50	81	-	-	

- 測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

(3) 気象観測結果

①降水量・積雪深

測定地点	測定月	降水量 (mm)	積雪深 (cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
美付	10月	59.5	0	0	0	0	0
	11月	132.5	0	0	0	0	5
	12月	127.0	1	8	0	3	22
	第3四半期	319.0	0	8	0	1	22

- 測定値は「地上気象観測指針」（気象庁）に基づく1時間値。
- 積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間（令和2～6年度）の同一時期の平均値及び最大値。